十八日の午後以後一寸お邪魔致し度 御都合伺上候 [illegible]
高田序文の儀は勝手ながら[illegible]出版社の方へ[illegible] 多忙中
[illegible]の考案（トイフ程デモナイガ）を賛成すると云ふもの[illegible]
[illegible]自由[illegible]ハ中[illegible]自由[illegible]の[illegible]
○楓にも只今例の雑誌には原稿を送る事[illegible] 十一月十日マデハ
[illegible] 愛善[illegible] 僕の為[illegible]
[illegible]の刊行[illegible]あれバ[illegible] 僕[illegible]事と一切関[illegible]ぬと[illegible]
[illegible] 今[illegible] 就[illegible]
[illegible]
（僕ハ何よりも[illegible]の体面の[illegible]）
周囲の下[illegible]一寸[illegible] 墨[illegible]一[illegible]
よきを可とす[illegible] 高[illegible]の[illegible]は[illegible]
積[illegible] 様[illegible]も[illegible]は[illegible] [illegible] が有名の作の[illegible]篇[illegible]様
あれバ一層[illegible] [illegible]（ゴザ）[illegible]（マス）の文字の[illegible]の[illegible]（既往ハ不[illegible]）
[illegible]原稿[illegible] ○[illegible]
○附録[illegible]も[illegible]号より[illegible]
[illegible]原稿[illegible]表紙[illegible]
[illegible]十日[illegible]と[illegible]が僕ハ[illegible]
[illegible]他の[illegible]ればず[illegible]術[illegible]
[illegible]論[illegible] [illegible]も[illegible]
[illegible] ○[illegible]新[illegible]朝日[illegible]抗[illegible]
[illegible]れバ[illegible]評[illegible]も
[illegible]

十[illegible]日
[illegible]
[illegible]

冨山房雑誌早速御送り被下奉謝候 [illegible]
紀行 [illegible] 雑誌ハ拵図 [illegible] 宅ニ間 [illegible] 紀遅滞 [illegible]
[illegible] 鳴謝 [illegible] 申述 [illegible] 徳川男女 [illegible]
拵え [illegible] 紀ハ [illegible] 編纂 [illegible]
[illegible] 中ハ引 [illegible] 出来 [illegible]
[illegible] 編輯ヲ [illegible] 出来 [illegible] 稿
一 [illegible] 上 [illegible] 様 [illegible]
[illegible] 上 [illegible] (天狗 [illegible]) [illegible] 記ハ
[illegible] 表 [illegible] 腹稿の五戦記ハ
○佐賀の乱 ○熊本神風連 ○台湾征伐 ○鹿児島 [illegible]
○朝鮮(是ハ前ノ腹稿ヨリ箱館ノ脱走ノ積リ)何でも其時の小冊を拵え
より引書キハ借りずれ [illegible] の体ハ徳川男女で徹ひ(ハ新案ガアラバ随意)子
供の手遊びあれバ供の説明などハ [illegible] として(押絵 [illegible])一戦
場を十二三丁ニ分ケバ中寛(ナカニ)六十丁ニ [illegible] 円ニ五銭満尾ト [illegible]
挿画の如きハ下画の好きヲ書てやつて画の如もやり立ちて一丁毎
或ハ納定するの(僕ハ此表の [illegible] 二丁かたまきてカキタリ)都ハ此例ニ徹ひ一丁
何紙ハ適宜に納定 [illegible] 若ハ製本 [illegible] とを以て
[illegible] 例 [illegible] 中村ハれど出来ぬと云ふ事を様之 [illegible]
様御依頼 [illegible] 拝 [illegible]
[illegible]
十月 廿日 蘭渓主人
二白 [illegible] 扇中 [illegible] 梅 [illegible]
[illegible] 大梅 [illegible] 小生 [illegible]
[illegible] よろしく [illegible]
[illegible] 新 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

御西世子雅記ハ此ノ件ハ拙宅ニ於テ景無之候
霞善社ニ於テ
十月廿六日
紅葉
あねさま

拙者新守西稿多遅延甚者　社員大怒ビ（）龍南子古侍稿ハ毎
月十二回ハ送稿有之（時として二回の事も有之て困る）古洞翁ハ十二篇にて全
三回ニて送稿すれバ収得少く不幸にして画稿西村よりよろし
完ハ三回ニて宗の稿来り候も腹脱一月に至りて今日に至るも本稿も
第十七回より断り候社員も心に不快なりし古き宣告して明社ハ今日ニ於
稿を絶ち随続ハ送りてよし（但十二回ヨリ毎十ハ却デ悪シ）洞翁ハ月末拙宅ニテ
為替の道一とふる二三報門新聞毎々ハ送致すると為し画料ニテ三室
売出候へバ二二綴り送集三十四十拙家へ貸て下されバ荊妻が最も
待望したる物にてありよろしき致さるへし　○愛子も新年後の
画料ハ百金と今起ハ新報社へ拝受の謝状も毎月画料四百円なりとも
定めハ送りたるに拙者ハ拙者宅へ報告の為に社員ハ
朝の新聞に勝れり本月一日の紙上を大いに賞て古り坐との門社員に
小遣の新聞ハ　○霞善社ハ送社ハ腹立となりて晩に上るの書類に送り
ハ撰置たる編の為家へ送り拙宅へ持ち帰りたり　○別紙一封
は通信ニ付採り毎の如く報告する事なり　○閑草も為姪ハ私方に送りて中々
西をは月末といふ迄望月の二十七日頃草ト小家知一も（右姪ハ供の自ら来りて）送り込ムノデハ有
御親父様も毎々御無事
尊君謝一同ニも宜敷御伝言下され
先づは要用のみ如斯也

十月廿六日
浪華
しなひこ
三馬盟兄
侍史

柳屋箋

本月六日の御書状只今拝読致し候且御細稿も受取り申し候ハ甚だ見事なる出来に御座候
大きなる力瘤を入れしものの如く皆々も大に感服いたし三益堂にも謝し可申候其の筋の事は新年広告
西洋物は御無沙汰致し候勘弁相成度候何れ追て萩野はくれぐれも宜しく小量なる
様子何卒宜しく御伝へ被下度候

（三）

本月二十一日の書拝見小説既に脱稿せしもの[illegible]黒見君が大変に取[illegible]
大きな力瘤を入れし[illegible]如く[illegible]好き三[illegible]謝絶[illegible]
[illegible]中村勘兵衛は[illegible]横情[illegible]小量[illegible]
[illegible]上にも[illegible]
五戦記[illegible]是に[illegible]是等の[illegible]思[illegible]
[illegible]別[illegible]勝[illegible]
[illegible]書[illegible]
[illegible]刪[illegible]僕[illegible]
[illegible]製[illegible]
[illegible]今[illegible]感
中[illegible]春陽堂[illegible]
[illegible]平尾代理[illegible]花や[illegible]艶
[illegible]劇場[illegible]新事[illegible]
○[illegible]大達[illegible]葉[illegible]
[illegible]語[illegible]唯[illegible]
[illegible]一篇[illegible]文[illegible]後悔[illegible]
[illegible]幸便[illegible]
四月[illegible]午後
花房[illegible]
[illegible]親[illegible]
[illegible]柳亭

（三）

お話の小説[illegible]刷印[illegible]二ヶ所[illegible]出版（一ヶ所は[illegible]
関係[illegible]）[illegible]出版せし[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]心[illegible]
[illegible]
[illegible]
二月十一日
[illegible]柳亭

の名を假用致し候段恐縮奉存候　尚又此頃[illegible]
くれの風中何卒宜敷[illegible]
またそれハ[illegible]御潤料[illegible]
つくし

三月十七日
華[illegible]墨
柳亭

愈御清穆奉賀候　扨者貴稿ハ雷師ゟ手紙也有之先生
より一寸見せ候　西京歸り之事故小庵方へ[illegible]
御預りハ[illegible]　御潤料　金三円相添候[illegible]
同様之[illegible]受取記入[illegible]御返し[illegible]
先年[illegible]世中[illegible]若連中[illegible]種々[illegible]宜敷[illegible]
評ハ風流之事と申居候
此度新年号ハ三月[illegible]
[illegible]
三也で新流へ月ニ三回続物ニても試又も御掲載[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
幸便毎々[illegible]
金田華江[illegible]

[illegible]
三月十日
華[illegible]墨

[illegible]

華月堂

[illegible]

十二月

一つ西の一書有り閑は定例の通り新旦新年祝賀の部
金田（はまだ）氏より越後（は）潤筆は永坂（は）有義金田の子は
雑賀幡男氏も原（は）新（は）生る別記（は）百見（は）百義（は）
言葉（は）○注屋（は）新（は）由多（は）社（は）生が校閲し越（は）出板不
苦（は）が慶応の利用（は）以（は）古（は）者（は）役用（は）高田紀（は）序も
多（は）年間（は）多書刊（は）有り（は）一部発（は）郵送（は）○注名
柳の子（は）四（は）ら（は）ら（は）柳翠（は）種（は）人（は）種（は）柳（は）
と云ふ柳傳（は）筆（は）筆者（は）宣（は）以て（は）高田。摘板。は也十種（は）
。美（は）防（は）新（は）紙（は）て（は）菊（は）。筆（は）
○は筆潤筆（は）美（は）子（は）面（は）て（は）三四の積（は）
（は）て（は）其（は）紙（は）ら（は）ら（は）は（は）耳（は）の（は）自（は）
特（は）の（は）れ（は）ま（は）宅（は）金（は）四（は）（は）穂（は）（は）賜（は）ら（は）越（は）都（は）る（は）
の（は）る（は）柳（は）家（は）の（は）子（は）と（は）は（は）紙（は）の（は）は（は）記（は）筆（は）
（は）れ（は）は（は）必（は）其（は）紙（は）は（は）入（は）書（は）て（は）し（は）○（は）岡（は）地（は）は（は）も（は）新（は）ま（は）ま（は）も（は）初（は）配（は）附（は）祝
題（は）板（は）し（は）て（は）抽（は）戦（は）は（は）れ（は）ま（は）ま（は）大（は）金（は）が（は）溜（は）と（は）の（は）（は）（は）（は）校（は）文（は）子（は）
（は）和（は）迄（は）て（は）し（は）て（は）古（は）画（は）摘（は）は（は）果（は）花（は）の（は）面（は）て（は）○（は）高（は）田（は）紀（は）す（は）序（は）も（は）書（は）美（は）社（は）部（は）
必（は）金（は）年（は）
設（は）の（は）子（は）と（は）は（は）紙（は）の（は）は（は）記（は）筆（は）は（は）美（は）は（は）記（は）筆（は）美（は）成（は）久（は）安（は）有（は）受（は）
別（は）の（は）が（は）書（は）は（は）中（は）○（は）学（は）校（は）を（は）気（は）の（は）節（は）は（は）
は（は）頼（は）筆（は）者（は）（は）年（は）新（は）岡（は）地（は）も（は）程（は）も（は）板（は）の
学（は）者（は）（は）は（は）多（は）の（は）繁（は）忙（は）十（は）二（は）月（は）迄（は）の（は）夜（は）徹（は）大（は）変（は）の（は）越
（は）の（は）る（は）も（は）面（は）て（は）（は）（は）（は）其（は）刻（は）後（は）部（は）ぬ（は）が（は）面（は）つ

梅枝七月の滝

十二月　十二月廿日　稚考

学長書（は）一村（は）筆（は）筆者　稚考

高島藍泉（三世種美）自筆下画
車馬
往来
通行
本地
駒下屋の

高田記風序

越の雪と云バ。菓子の名とのみ思ふ。華下の婦女子ハ白雪の。深き越路を踏見ねバ。実に苦と知るよしも。閲明もく世ハ小学の。地理書ゑ就ても

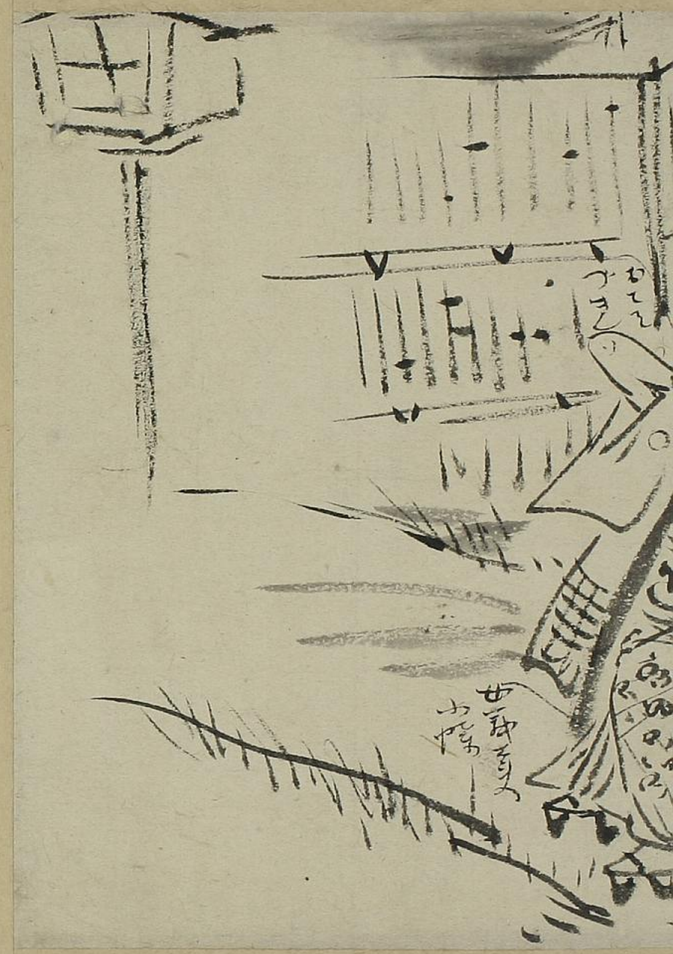
高島藍泉（三世種美）自筆下画

高田記風序

越の雪と云ハ。菓子の名とのみ思ふ。輦下の婦女子ハ白雪の深き、越路を踏見ねハ。寒て苦と知るよしなからしも。聞明なく世ハ小学の。地理書を就ても北越地方と。史看る毎に書貢の進みて。六出花瓊苞と。故事とも知得る。況角が眼も高田ハ特別て。積る深雪に折伏し。松平家と再興す。忠臣義士の事蹟と。編纂なる簡浸が。改号の初無量ハ。武家騒動でも顔見世の。雪に因の讀切譚。雪と梅花の信もいい。柳繁の風に比すとも云ハ。柳條亭華彦の。貴かーに縁喜を祝して。梓に出生風揚みと願ふ。

昔明治十五年十二月十日舊齢爾月の顔見世時
狗枝の梅が咲浪華の客次に於て叙す

柳亭種彦



昨日やう着宅訪来の旧員と団生に接すと雖ども

昔明治五年十二月十日舊齋霜月の顔見世時

詢梅の梅が咲浪華の客次なるかて叙す　二号　杵亭種彦

[illegible]

[illegible]

[illegible]

再伸　柳子の子と[illegible]
柳窟の三書を称す

田宮仲宣氏
風俗画同義　　佐國和俗

しかる後を[illegible]者と柳窟の卒業生とする者有
り越後の人岩谷柳窟[illegible]
百里[illegible]は[illegible]

愛善新聞社

郵便はがき

此表面ニハ宿所姓名ヲ限リ認むへし

初瀬附録郷土福祥の内琵琶湖の八景ト
題ノ景ト仰セ出サレの八景トハ琵
琶湖ニ無天ハ編アレ氏無天ノ海野ハ
何ノ縁モナキ事ト称シ今ハ亜一の絶園
ハ明示ス事ト野文市屋町ナドハ此今
甚実校合兼閲ニ記者ノ迷惑修
ト一屋ハ屋言ハ言ハ
一月十五日

郵便はがき

此表面ニハ宿所姓名ヲ限リ認むへし

一月十四日

大阪府東區本町二丁目五十二番地

大東日報社

郵便はがき

此表面ニハ宿所姓名ヲ限リ認むへし

郵便はがき

此表面ニハ宿所姓名ヲ限リ認むへし

初瀬附録樹七福神の図幅、壁間の八景
詩ノ書上ル仙迹の八景ト
題ス。無天ハ海賀野ハ
何ノ縁モナキ事ト称スレトモ
仙明寺ハ野又市郎所ナレハ此方
書家校合羅陽ニテ記者ノ迷惑推
ト一層ヲ言ツテ
一月十五日

高岡氏ヨリ帝又ハ高岡ニ執ル所ノ戸籍ニ
月成カ如ク校シ以陶宅ニ近ク仕
ル如キ月十三ノ高安ニ付
ヤトノ義ヲ一応ノ院ニ言ヒ
ハ高岡ニ立腰ノ御手
ハ高岡ニ執ル所ノ事ニ付第ル月成

冊伸 柳亭の子とは時

柳亭亂の三書を称す

田家藏

一月十四日

東京湯屋組合
少丁目 東日報社
愛善福弾

郵便はがき

此表面ニハ宿所姓名ヲ限リ認むへし

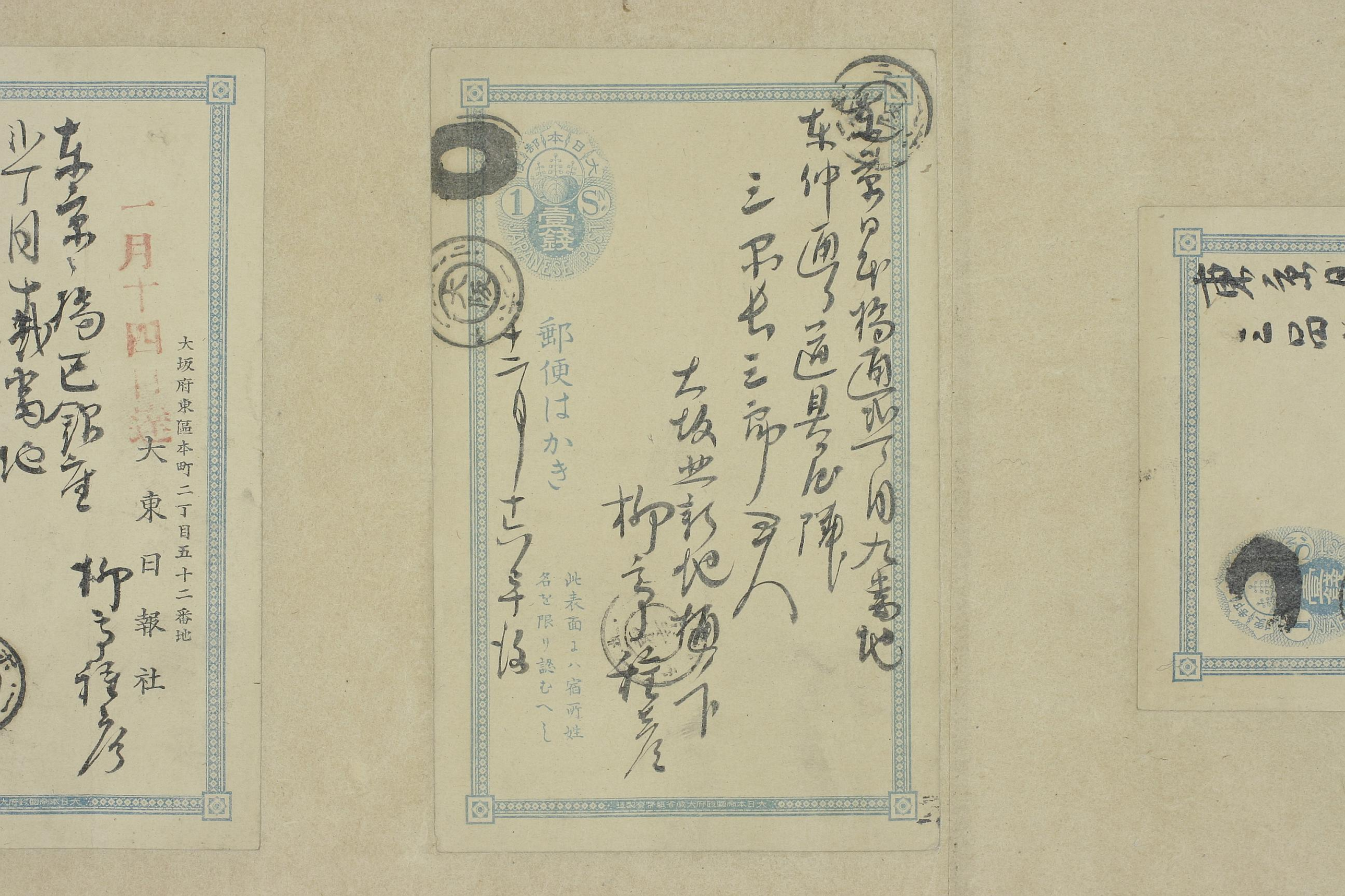
大坂府東區本町二丁目五十二番地
東日報社

郵便はがき

此表面ニハ宿所姓名ヲ限リ認むへし

柳亭

[illegible]
[illegible]
[illegible]



一月十四日

大阪府東區本町二丁目五十二番地
大東日報社

東京市麹町区
少丁目
柳亭種彦

郵便はがき
此表面ニハ宿所姓名ヲ限リ認むへし

大阪府東区
柳亭種彦

右書ハ故郷の事移地ハ由ヲ国却ス
ハ郵便ヲ新ニ出ス高地ヲ詳判ス
事ヲ西京ノ書肆ガ出版シタイトテマス
不出ハ許容ツシ侍ヲ私ガ疑モリナリ
序文モ名ハ書タクハ毎月篇ハ大要
●回位三ノ畢ハ見込ノ如ク
得意ハ自ラ知クテモ社デハ長篇ノ意ヒ
中ハ
回脱稿ヲ定ハ我和歌題ヲ神ノ
ソンナハ必オヨシナサイ迄ハ私ノ微意ガ
無ニ成リ却テ私ハ満足不仕ハ是又言田
ノ序文ハ閑事ト云ヒ言ヒ度ハ
事ヲ
投書ノ郵税モトツテ上ン心迫シカシ
高月ハ
龍琵湖ト迄ハ
言ハセトノ
ハ
陰屋ハ
ベシ言田南書ト
水防ハ
世ヲ

東京日本橋区通二丁目東仲通九番地
三品孝之亟

[illegible]

[illegible]

此表面ニハ宿所姓名ヲ限リ認むへし

大日本帝国政府大蔵省紙幣寮製造

なお社中の拙書すべき社号
と仰せ候亭華と改め数部の出版を著すべし」
なる越高と云ふは遠藤新聞
社の古個新聞也

信濃新聞
第四号
第五号
第六号
第七号
第八号
第九号
第十号
第十一号
第十二号
第十三号
第十四号
第十五号
第十六号
第十七号
第十八号
第十九号
第二十号
第二十一号
第二十二号
第二十三号
第二十四号
第二十五号
第二十六号
第二十七号
第二十八号
第二十九号
第三十号
第三十一号
第三十二号
第三十三号
第三十四号
第三十五号
第三十六号
第三十七号
第三十八号
第三十九号
第四十号
第四十一号
第四十二号
第四十三号
第四十四号
第四十五号
第四十六号
第四十七号
第四十八号
第四十九号
第五十号
第五十一号
第五十二号
第五十三号
第五十四号
第五十五号
第五十六号
第五十七号
第五十八号
第五十九号
第六十号
第六十一号
第六十二号
第六十三号
第六十四号
第六十五号
第六十六号
第六十七号
第六十八号
第六十九号
第七十号
第七十一号
第七十二号
第七十三号
第七十四号
第七十五号
第七十六号
第七十七号
第七十八号
第七十九号
第八十号
第八十一号
第八十二号
第八十三号
第八十四号
第八十五号
第八十六号
第八十七号
第八十八号
第八十九号
第九十号
第九十一号
第九十二号
第九十三号
第九十四号
第九十五号
第九十六号
第九十七号
第九十八号
第九十九号
第百号
第百一号
第百二号
第百三号
第百四号
第百五号
第百六号
第百七号
第百八号
第百九号
第百十号
第百十一号
第百十二号
第百十三号
第百十四号
第百十五号
第百十六号
第百十七号
第百十八号
第百十九号
第百二十号
第百二十一号
第百二十二号
第百二十三号
第百二十四号
第百二十五号
第百二十六号
第百二十七号
第百二十八号
第百二十九号
第百三十号
第百三十一号
第百三十二号
第百三十三号
第百三十四号
第百三十五号
第百三十六号
第百三十七号
第百三十八号
第百三十九号
第百四十号
第百四十一号
第百四十二号
第百四十三号
第百四十四号
第百四十五号
第百四十六号
第百四十七号
第百四十八号
第百四十九号
第百五十号
第百五十一号
第百五十二号
第百五十三号
第百五十四号
第百五十五号
第百五十六号
第百五十七号
第百五十八号
第百五十九号
第百六十号
第百六十一号
第百六十二号
第百六十三号
第百六十四号
第百六十五号
第百六十六号
第百六十七号
第百六十八号
第百六十九号
第百七十号
第百七十一号
第百七十二号
第百七十三号
第百七十四号
第百七十五号
第百七十六号
第百七十七号
第百七十八号
第百七十九号
第百八十号
第百八十一号
第百八十二号
第百八十三号
第百八十四号
第百八十五号
第百八十六号
第百八十七号
第百八十八号
第百八十九号
第百九十号
第百九十一号
第百九十二号
第百九十三号
第百九十四号
第百九十五号
第百九十六号
第百九十七号
第百九十八号
第百九十九号
第二百号

古川先生
柳

なお社中の拙書すべき社号
と仰せ候亭華と改め数部の出版を著すべし」
なる越高と云ふは遠藤新聞
社の古個新聞也

信濃新聞
第四号
第五号
第六号
第七号
第八号
第九号
第十号
第十一号
第十二号
第十三号
第十四号
第十五号
第十六号
第十七号
第十八号
第十九号
第二十号
第二十一号
第二十二号
第二十三号
第二十四号
第二十五号
第二十六号
第二十七号
第二十八号
第二十九号
第三十号
第三十一号
第三十二号
第三十三号
第三十四号
第三十五号
第三十六号
第三十七号
第三十八号
第三十九号
第四十号
第四十一号
第四十二号
第四十三号
第四十四号
第四十五号
第四十六号
第四十七号
第四十八号
第四十九号
第五十号
第五十一号
第五十二号
第五十三号
第五十四号
第五十五号
第五十六号
第五十七号
第五十八号
第五十九号
第六十号
第六十一号
第六十二号
第六十三号
第六十四号
第六十五号
第六十六号
第六十七号
第六十八号
第六十九号
第七十号
第七十一号
第七十二号
第七十三号
第七十四号
第七十五号
第七十六号
第七十七号
第七十八号
第七十九号
第八十号
第八十一号
第八十二号
第八十三号
第八十四号
第八十五号
第八十六号
第八十七号
第八十八号
第八十九号
第九十号
第九十一号
第九十二号
第九十三号
第九十四号
第九十五号
第九十六号
第九十七号
第九十八号
第九十九号
第百号
第百一号
第百二号
第百三号
第百四号
第百五号
第百六号
第百七号
第百八号
第百九号
第百十号
第百十一号
第百十二号
第百十三号
第百十四号
第百十五号
第百十六号
第百十七号
第百十八号
第百十九号
第百二十号
第百二十一号
第百二十二号
第百二十三号
第百二十四号
第百二十五号
第百二十六号
第百二十七号
第百二十八号
第百二十九号
第百三十号
第百三十一号
第百三十二号
第百三十三号
第百三十四号
第百三十五号
第百三十六号
第百三十七号
第百三十八号
第百三十九号
第百四十号
第百四十一号
第百四十二号
第百四十三号
第百四十四号
第百四十五号
第百四十六号
第百四十七号
第百四十八号
第百四十九号
第百五十号
第百五十一号
第百五十二号
第百五十三号
第百五十四号
第百五十五号
第百五十六号
第百五十七号
第百五十八号
第百五十九号
第百六十号
第百六十一号
第百六十二号
第百六十三号
第百六十四号
第百六十五号
第百六十六号
第百六十七号
第百六十八号
第百六十九号
第百七十号
第百七十一号
第百七十二号
第百七十三号
第百七十四号
第百七十五号
第百七十六号
第百七十七号
第百七十八号
第百七十九号
第百八十号
第百八十一号
第百八十二号
第百八十三号
第百八十四号
第百八十五号
第百八十六号
第百八十七号
第百八十八号
第百八十九号
第百九十号
第百九十一号
第百九十二号
第百九十三号
第百九十四号
第百九十五号
第百九十六号
第百九十七号
第百九十八号
第百九十九号
第二百号

第弐伯依彩弐百弐拾三ていめ

三世柳亭種彦書簡

三品菊溪宛

本間文庫
文庫 14
C 95